

美ら島めぐり通信



10月8日、知名町のフローラル館において、沖永良部地区青年農業者会議を開催し、和泊町、知名町および与論町の農業青年クラブ員が個人や共同で取り組んでいるプロジェクト活動や、自らの経営目標等について発表しました。
会議には、指導農業士や女性農業経営士、農業経営者クラブのほか関係機関・団体から多数の出席があり、助言や激励の言葉が送られました。

<個人プロジェクト発表>

発表者：穂田 和磨さん
知名町農業青年クラブ
題名：ばれいしょの地力窒素診断に基づく
施肥による施肥削減の検討

発表者：福 淳一郎さん
知名町農業青年クラブ
題名：にんにくの安定生産に向けて！
～種（りん片）の大きさ・植付深さが
生育・収量に及ぼす影響の把握～

<共同プロジェクト発表>

★和泊町農業青年クラブ
発表者：山本 成孝さん
課題名：新品目の検討
～アセロラの試験栽培～

★知名町農業青年クラブ
発表者：清村 照悟さん
課題名：新規品目の検討
～ライフ・トウガラシ栽培の取組～

★与論町農業自営者クラブ
発表者：白尾 正涼さん
課題名：いちご栽培プロジェクト
～新規品目の検討～

<意見発表>

○和泊町 田中 甫さん
「親父の背中」
・当初、考えが甘く農業の楽しみが無かった
・仕事に対する姿勢を親父から教わった
・次は自分が3人の子供に背中語る
親父になりたい

○知名町 池上 翔さん
「自分の農業」
・年を重ね、帰島し農業を継ぎたいと思う
・作業は天候に左右される
・子供達が、農業は儲かると思ってくれる
ような農業経営を目指す